

2024年7月吉日

DCMホールディングス株式会社

自律した学習者を育む「シブヤ未来科」2024年度本格化 渋谷区立加計塚小学校にて、職業体験を実施 総合学習の時間に、自律的に学び考えるスキルを身につける ～ 日本総研の社会体験カリキュラム「しくみ～な」～

DCMホールディングス株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長兼COO：石黒靖規）のグループ会社であるDCM株式会社（代表取締役社長：石黒靖規 以下DCM）は、渋谷区教育委員会が2024年より本格的にスタートしている「シブヤ未来科」の授業の一環として、渋谷区内の小学校で試験導入される株式会社日本総合研究所（本社：東京都品川区、代表取締役社長：谷崎勝教、以下日本総研）の社会体験カリキュラム「しくみ～な」に参画しております。2024年6月18日・20日・24日・25日の4日間、渋谷区加計塚小学校の5年生・6年生が、店長・調達・設計・マーチャンダイザー・販売員の仕事を体験。各職種の立場で、“猛暑対策コーナーの設置”や“検診センターから受注したリフォーム”等のタスクを解決する為に、自身で考え行動いただきました。2024年9月には、渋谷区笹塚小学校でも実施を予定しています。

ホームセンター事業を全国約840店舗展開するDCMは、経営理念「Do Create Mystyle 暮らしの夢をカタチに」のもと、自分たちの生活をDIY（Do it yourself）でより良く作り上げていく体験を通して、児童の皆さまに自律的に学び、生きるスキルを身につけていただきたいと思います。



6月18日：
加計塚小学校
体験授業の様子

<概要>

- ・試験導入校：渋谷区加計塚小学校・渋谷区笹塚小学校
- ・対象学年：小学校5年生、6年生
- ・実施予定期間：2024年6月18日～25日、9月24日～27日
- ・実施内容：DCMのブースでは、店長・調達・設計・マーチャンダイザー・販売員の仕事に従事。

渋谷区立加計塚小学校		渋谷区立笹塚小学校	
実施場所	小体育館（20x20m）	実施場所	体育館（20x30m）
実施予定時期	設営：2024年6月17日 実施：同18、20、24、25日	実施予定時期	設営：2024年9月23日 実施：同24・26・27日
対象学年	小学校5年生、6年生	対象学年	小学校5年生
参加人数	計79名（各学年×各2回）	参加人数	計100名（3学級×各1回）
カリキュラム	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">校内学習 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">体験活動 </div> </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">校内学習 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">体験活動 </div> </div>	
稼働日数	4日間	稼働日数	3日間

■ 3つのタスクに取り組む

DCMの職業体験では、店長・調達・設計・マーチャンダイザー・販売員 5つの役割に分かれて、主に下記3つの課題を実施。売場をどうしたら魅力的に見せられるか、どうしたら売れるのか、受注した壁をどうしたら希望どおりリフォームが行えるか等、自身で考え行動いただきました。大人のアドバイスを受けず、各職種の立場の役割を果たし、最後は店舗の売上を集計し売れ筋商品を検証し導きだしました。

3つのタスク

- ① 魅力的な売場をつくろう→
- ② 検診センターの待合室をリフォームしよう
- ③ 住民投票をふまえて町を変えよう



昨年度の売上を見て、商品を仕入れ売場に並べる。



猛暑対策コーナーのPOPを作成。売れる売場づくりを考える。



検診センターから、リフォームの仕事を受注し、施工する。提案した内容で、壁の塗装を仕上げる。



区役所から公園魅力化事業の工事を受注し実施。仕様書の配置を見ながら、木を植える。



予算に応じて、仕入れる商品を計算。



売上を計算、売れた商品はなにか検証。売れ筋は、POPで紹介した「クールフープ」。

■ 自律した学習者を育て「シブヤ未来科」について

渋谷区では、グローバル社会で活躍する自律した学習者を育てるために、総合学習の在り方を独自に強化した「シブヤ未来科」を2024年度から本格化させます。これは、文部科学省の「授業時数特例校制度」を活用した取り組みで、区立小・中学全26校では、**月曜日から金曜日までの午後の授業時間は全て「探究学習」**に充てられます。この大胆な教育課程によって、例えば**小学校6年生の総合学習の時間は、これまでの年間70時間から155時間に倍増**します。シブヤ未来科では、他者と協働的に問題を解決したり、問題解決の過程を自ら振り返ったり、方法や手順を的確に記述したり伝え合ったりする探究的な学びに特に注力します。また、学校内にとどまらず、地域や企業、専門家の協力を得ながら、渋谷の街全体を学びのフィールドとして子ども主体の学びを実現していきます。子どもたちは、そうした豊かなホンモノ体験を通して、自ら問いを立てたり、仲間と協働して新たな価値を創造したり、主体的な探究活動を充実させることで、これからの**予測困難な社会で生き、働いていく本物の学力を身に付けていく**としています。

	月曜日～金曜日
午前 1～4校時	教科を中心にした授業（国語、社会、算数、理科、英語など）
午後 5～6校時	探求 主として「シブヤ未来科」の時間 （総合的な学習の時間、道徳、特別活動など）

■ 試験導入される「しくみ～な」の概要

日本総研の社会体験カリキュラム「しくみ～な」は、シブヤ未来科のコンテンツの一つとして、今年度、渋谷区内の小学校2校で試験導入されます。子どもたちは、学内授業と体験施設での社会体験活動を通して、世の中の仕事に関連し合いながらそれぞれ役割を果たしていることを学び、社会全体の仕組みを理解します。**体験施設では、子どもたちがそれぞれ異なる仕事に就き、他の子どもたちとやり取りをしながら業務を行うロールプレイを通じ、社会・経済・仕事の仕組みを主体的に学んでいきます。**あらゆる仕事が、そして一人ひとりの役割が社会において重要であることを体感できるよう、ロールプレイは自分が欠けたら他の仕事も回らない仕組みとなっています。また、投票の権利や納税の義務も学びます。しくみ～なの体験施設には、地域に存在する企業や公的機関などが出展します。体験施設での仕事は、そうした地域の団体の仕事をベースとしており、子どもたちは、実際の仕事に近いやり取りを、ロールプレイという安心して挑戦できる環境の中で体験できます。大人は、子どもたちに失敗をさせないように助けるのではなく、子どもたちを信じてただ見守ります。子どもたち一人ひとりの未来を生きる力の習得という目標、子どもたちが協働する体験を通して主体的・対話的に学ぶカリキュラム、相互関係のある多業種の企業を一つの仮想街に集めた本物に近い学びのフィールドが評価されて、しくみ～なはシブヤ未来科に試験導入されています。

日本総研ニュースリリース（<https://www.jri.co.jp/company/release/2024/0418/>）より

■ DCM DIY placeとは

「DIYによるくらし快適化」のお手伝いをする店舗です。日々のくらしを快適にするツールとアイデアを取り揃え、「やってみたら自分でできた！」を応援する、ホスピタリティにあふれた体験型店舗です。

店舗名：DCM DIY place

住所：東京都渋谷区恵比寿4丁目20番7号 恵比寿ガーデンプレイスセンタープラザ1F

営業時間：10:00～20:00

定休日：元日、法定点検等別途指定する日

HP: <https://www.dcm-hc.co.jp/dcm-diy-place/>

Instagram: @dcmdiyclace_official

DCMホールディングス株式会社とは

全国でホームセンター事業、その他EC事業等を展開しております。売上高4,813億円、全国に約840店舗・従業員数は 約2.6万人です（2024年2月末現在）。

※（株）ケーヨーは、2024年1月より完全子会社となりました。

グループ共通の経営理念「Do Create Mystyle 暮らしの夢をカタチに」のもと、お客さまのために、新しい商品・サービスを創造し、変化に 柔軟に対応しながら、地域と団結し、社会に奉仕する、なくてはならない企業のカタチを実現します。

<本件に関する問合せ先>

DCM DIY place広報事務局（株式会社K&L内）担当：宮城・岩原・伊藤
TEL：070-2170-0159（宮城携帯）、03-5211-8131 E-mail: dcm-pr@klt.co.jp

